

思いやりの気持ちを大切に

～みんなが一つになって乗り越えましょう～



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、わたしたちはこれまで経験したこのない日々を過ごしています。そのようななか、全国では感染された方や周りの方が差別されるといった悲しい出来事が起きています。

今の状態では、いつ自分が濃厚接触者になっても、感染してもおかしくありません。自分や家族が差別されたら・・・とっても悲しいですね。

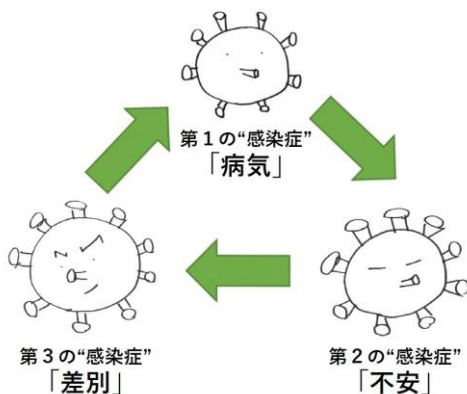
自分がされて嫌なことはぜったいにはなりません。

本来の敵は？・・・人ではなくウイルスです

私たちが戦う相手は、目に見えないウイルスです。偏見や差別は人を傷つけ、地域を混乱させるだけで、誰のためにもなりません。それどころか、この危機を長引かせることにもなりかねません。

新型コロナウイルス感染症は“3つの顔”をもっています。これらが負のスパイラルとしてつながることで、更なる感染の拡大につながることを懸念されています。

病気への不安が、ウイルス感染にかかわる特定の対象に「危険」といったレッテルを貼って遠ざけることで、差別や偏見は起こります。



負のスパイラルを断ち切るために

- ◆「確かな情報」を拡げましょう
- ◆差別的な言動に同調しないようにしましょう
- ◆お互いにねぎらい、敬意を払いましょう

(日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より)



心の距離をとらないで
思いやりの気持ちを大切に！



松本市総務部 人権・男女共生課

Tel 39-1105 Fax 37-1153